

県民の友

昭和61年
7月号

発行/和歌山県 知事公室 広報企画課 TEL 0734(32)4111 No.575

バイオテクノロジー……最近、新聞やテレビ、ラジオによく登場することばです。日本語では「生物学」と訳され、「生物体及び生物学的システムを利用して、目的とする物質及び生物体を作り出す新しい技術」と定義されます。

具体的には遺伝子の操作や細胞の培養などの技術があり、現在、医学面で最も研究が進んでいますが、農林水産業の各分野でも利用が期待されています。

本県でも、それぞれの分野の研究を進めていますが、農業面では新しい品種の開発や優良種苗の大増殖など高品質安定生産技術の開発に取り組んでいます。

昭和四十七年には農業試験場の紀南分場でイチゴや花き類の無病苗の育成技術の開発に成功しました。

昨年度からは農業試験場で、本

バイオテクノロジー……最近、新聞やテレビ、ラジオによく登場することばです。日本語では「生物学」と訳され、「生物体及び生物学的システムを利用して、目的とする物質及び生物体を作り出す新しい技術」と定義されます。

具体的には遺伝子の操作や細胞の培養などの技術があり、現在、医学面で最も研究が進んでいますが、農林水産業の各分野でも利用

県の特産であるエンドウや宿根カスミソウなどの新品種育成や優良品種の増殖の研究を進めています。バイオテクノロジーを利用すると一般に十年以上かかるといわれる新しい品種づくりに要する時間が大幅に短縮されます。また従来が増やしにくかった品種も大量に増殖することができます。

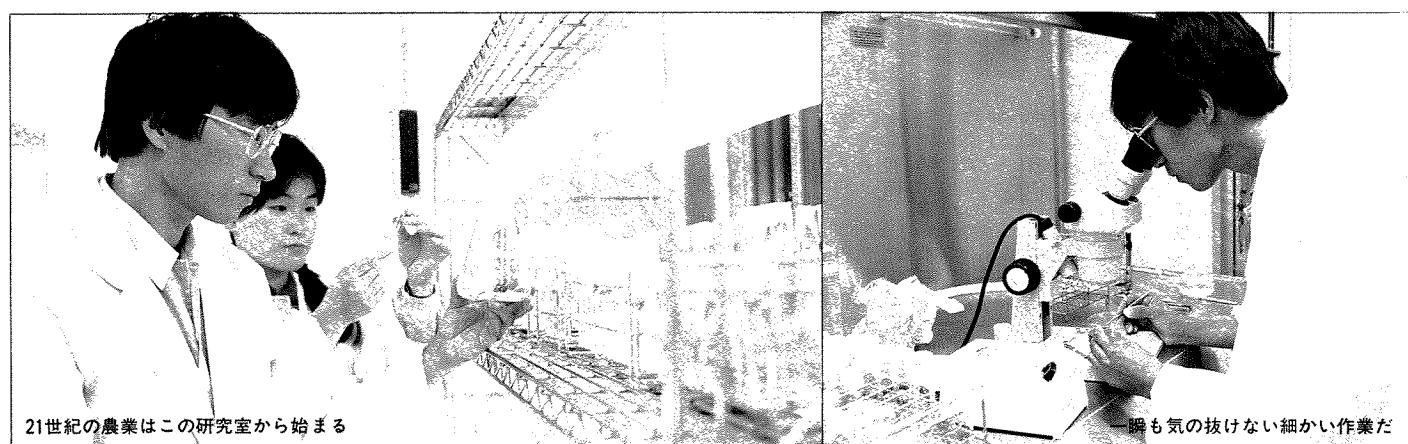


バイオテクノロジーへの農業現場からの期待は大きく、各種農業団体からの研究依頼があいついでいます。農業試験場では今年度から専任のスタッフを配置し和歌山県の農業にとって役立つ特産品の研究に取り組んでいます。

写真右 / 成長するフラスコのエンドウ
バイオで育つ新しい生命

農業最前線

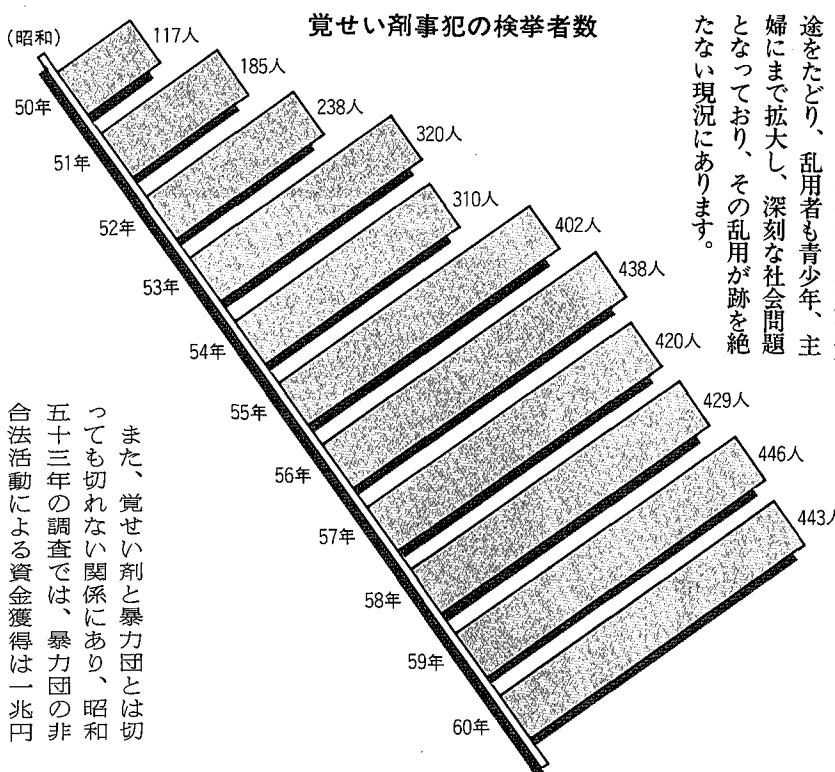
21世紀の技術の開発を目指して



破滅への恐怖

覚せい剤の実態

最近、覚せい剤事犯が増加の一途をたどり、乱用者も青少年、主婦にまで拡大し、深刻な社会問題となつております。その乱用が跡を絶たない現況にあります。



昭和六十年の和歌山県での覚せい剤犯の検挙者数は四百四十三人。人口十万人当たりでは全国平均の二倍で、全国一位の状況にあります。これら事犯に使われる覚せい剤はそのほとんどが密輸入によるものです。

覚せい剤とは

また、覚せい剤と暴力団とは切っても切れない関係にあり、昭和五十三年の調査では、暴力団の非法活動による資金獲得は一兆円以上あり、その約五〇%が覚せい剤によるものです。

覚せい剤の恐ろしさ

覚せい剤のいぢばんの恐ろしさは、慢性中毒になると精神分裂病の症状になることです。覚せい剤は使用すると、疲労や眠気が取れたよう感じますが、薬物の作用が消えると使用前よりも

覚せい剤使用の動機は

「好奇心」「面白半分」「人に勧められて」といった単純な場合がほとんどですが、職場の仲間、遊び仲間、セールスマンなどを装った密売人などから「疲れがとれる」「痛み止め」「やせ薬」「強精剤」「眠気さまし」など耳ざわりのよい言葉で誘いかけられ、無料で打つてもらつたりしているうちに、中毒者となっていきます。最初

「一度ぐらいなら大丈夫だろう」と始め、それが二度、三度と繰り返し使用することにより、覚せい剤中毒となり、自分ではなかなか断ち切れなくなつて行きます。その背景に目を向けると、暴力団とのつながり、不良交友、家出、ギャンブル、家庭不和、失業等といった生活の乱れや悩みのある場合に、心のすき間を突いて忍び寄つてくるケースが多くみられます。少年の場合はシンナー乱用から覚せい剤乱用者に移行するケースが多く、検挙された覚せい剤乱用者の約七〇%がシンナー経験者だったという報告があります。

激しい疲労感、けん怠感などに襲われます。使用時の快感が忘れられず、また使用後の疲労感から逃れため、繰り返して使用するようになります。

覚せい剤についての相談は、(03)3425-4610へ。覚せい剤を追放しましよう。妄想にとらわれ、殺人傷害等の犯罪をひき起こし、家庭はもとより、自分自身をも崩壊させてしまいま

あなたも善意通訳になりませんか

外国を旅行しているとき、言葉が通じないほど困ることはあります。善意通訳(グッドウィル・ガイド)制度は外国人旅行者に無償で簡単な道案内などをしていた



だく方を登録する制度です。登録されると、鳩をデザインした善意通訳バッジが送られてきます。



善意通訳バッジと
ガイドブック



覚せい剤についての相談は
(03)3425-4610へ

このバッジを胸に、話しかけられたときは親切に応対し、また困っている人を見かけたら話しかける——日頃勉強された語学力が国際親善に役立ちます。

現在、県内で四十七人が登録されています。あなたも善意通訳に挑戦してみませんか。

応募先 幸101 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館10階 国際観光振興会事業部善意通訳普及係 (03)216-1901 くわしくは県庁観光課へ。

障害者の住みよい
生活環境を目指して

県では身体にハンディキャップを負った方が安心して快適に暮らせるよう生活環境の整備に取り組んでいます。

人からなる「和歌山県建築物等環境整備指針作成委員会」を設置、建築物や道路、公園などの環境整備の基準について技術的な検討を重ねてきました。今回、その集大成として「障害者等の住みよい生活環境整備指針」を作成しました。

「指針」では建築物、道路、交通機関、公園の四部門について整備基準を設け適用箇所を定めていきます。たとえば建築物では玄関やろうか、出入口の幅の広さとか、手すり、スロープの取付基準のほ

か車いす便所エレベーター電話台など障害者の生活動作に適した設備の基準を設けています。道路、公園では点字ブロックの設置、防護さくの整備、歩道の切り下げ、通路の確保など危険防止を図ります。

この基準に適合した環境の整備には、施設の計画当初から「指針」を検討していく必要があり、特に設置者、設計者のみなさんにはご協力いただかなければなりません。県ではこの「指針」を市町村や報道機関、建築士会、土木建築業会、病院、金融機関、教育機関、デパート、スーパーなどに配布して、協力をお願いすることにしています。

この基準に適合した環境の整備には、施設の計画当初から「指針」を検討していただき必要があり、特に設置者、設計者のみなさんにはご協力いただかなければなりません。県ではこの「指針」を市町村や報道機関、建築士会、土木建築業会、病院、金融機関、教育機関、関、デパート、スーパーなどに配布して、協力をお願いすることにしています。

新しい組織機構でスタート 県の機構改革

県の機構改革

県は六月一日付で機構改革を行いました。今年度は「県行政改革大綱」実施の初年度にあたります。職員定数や管理職数の見直しを行なうとともに、組織機構の簡素化、効率化を進めることにより県勢の浮揚と福祉の「層の向上」を図ります。主なものは次のとおりです。

三、県民に対する疾患予防や健康増進等の保健行政指導を充実するため、駐在保健婦制の見直しを行ふとともに、各保健所に「保健指導課」を新設。

ともに事務のOA化を推進するため、電子計算課に班を増設。市町村に対する財政、税政指導を強化するため、地方課に「税政班」を新設。

六、県民のための行政改革をより強力に推進するため、行政管理業務を一元化し、人事課に「行政管理班」を新設。

七、「紀南福祉エリア建設室」と「蚕業技術指導所」を廃止。

八、その他、関連、類似する行政等を一元的に行うため、十一組織を統合、整備。

⑧幼稚園、小学校、中学校、高校、高等専門学校、大学、その他各種学校
⑨デパート、マーケット、レストラン、ドライブイン、その他これらに類する施設
⑩体育館、球技場、競技場、スポーツレクリエーション施設
⑪盲学校、ろう学校、養護学校、社会福祉施設

指針の適用建築物

- ①官公庁の庁舎で県民の利用する窓口のある施設

ぼくは、今でも心にひつかかっていることがある。

つてしまつた。急いで帰つたがそのおばあさんは、みあたらなかつ

して夜、ねる時考えた。明日の朝あえはあやまろう。朝になりいつもと同じようにな家を出た。「あっ。おばあさんだ」弟たちがまたにげた。ぼくが

「どう悪いのだろうと思つた。
「すまんけりトまでつれ
一ぱうしてにけるんだ」ときくと弟たちは、何も
答えなかつた。ぼくたち

「おのうはにげてじめん
ながへ」
はもうひて
「おのうはにげてじめん
ながへ」

いつてあげた。それが一
日か、二日おきにかなら
の心 宇佐

「まだつれってくれるん」といつて、うれしそうだ
学校1年

それがたんなんいやになつた。よかつた。ゆるしてもらえて。いじわるな二三をするといこうへう苦

8時10分をまわっていて、いやなのだ。そしておばあちゃんの思ひ太地町

思いやりの心

太地町太地中学校1年 宇佐川周

同和連載

「どうしよう。なせ走ってしまったのだろうか」と思い、あのおばあさんが心配になつた。上にもどうか下へ行こうかまよつた。でもにげてしまつたのでもどつてもいっしょだと思つて、学校へ行つた。だが心配になつた。もしかいだんからすべりおちるうちに、学校生活の一日が終わ

【三】それからもぼくは、思いやりの心を大切にしていこうと思う。この出来事によって、相手の人はもちろんのこと、自分も苦しい思いをするのだといふことがよくわかりました。

道

昨日・今日・明日

二十一世紀の和歌山県を「活力と文化あふれるふるさと」にするため、県では総合交通体系の整備を進めています。産業や文化の発展に交通網の整備は大きな課題。なかでも道路は農林水産物や工業製品の出荷、観光客の誘致、山村地域の振興など「活力わかやま」の基盤となります。

昭和五十九年に実施した「県政に対する世論調査」では、生活環境向上のための要望事項の中で、道路網の整備に関する要望が八一・三%とトップを占めています。「和歌山は道が悪い」「和歌山へ行くのは不便だ」という声を聞きますが、果たして本当に本県の道路は悪いのでしょうか。

たしかに昭和四十一年に策定された高速道路計画となる国土軸幹線道路計画では、全国七、六〇〇キロのうち本県分は大阪府の阪南町から海南市までの二十四キロだけと高速道路整備の遅れは否めません。

しかし、「道路」を県政の重点課題として取り組んできた結果、県内の国道の総延長は約七六〇キロ、県道と合

昭和六年現在、県内の国道、県道、市町村道の総実延長は一万三千四百キロ。この十年を見ても一路線の国道昇格(国道424号、425号、371号)、橋本、岩出、有田、田辺の各バイパスの開通、高野龍神スカイラインの建設、一般有料海南湯浅道路の完成

など着々と整備を進めてきました。このように道路の改良整備を行う一方、交通安全対策として今までの道路に併設して歩道の整備を中心、防護柵、道路標識など交通安全施設の整備にも積極的に取り組んでいます。

道路づくじの十年

進む道路整備

現在、県下の国道で工事を進めている主な工区は次のとおりです。

和歌山バイパス(図①)

田辺バイパス② 広角バイパス③

熊野川町上地→北山村小松⑤

上富田町朝来⑥

中辺路町福定→近露→野中⑦

本宮町武住→渡瀬→請川⑧

龍神村龍神→宮代⑨

龍神村谷口→中辺路町小松原⑩

大塔村下川下⑪ 古座川町立会⑫

鶴川⑫ 竹房橋(打田町竹房)⑬

桃山町市場→貴志川町井口⑭

海南市七山→原野⑮

金屋町宇井→美山村弥谷⑯

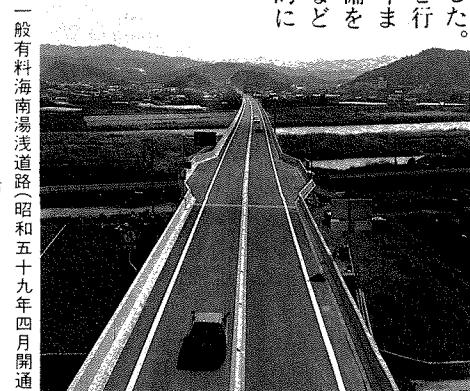
美山村椿山→龍神村丸瀬⑰

南部川村轟井⑯

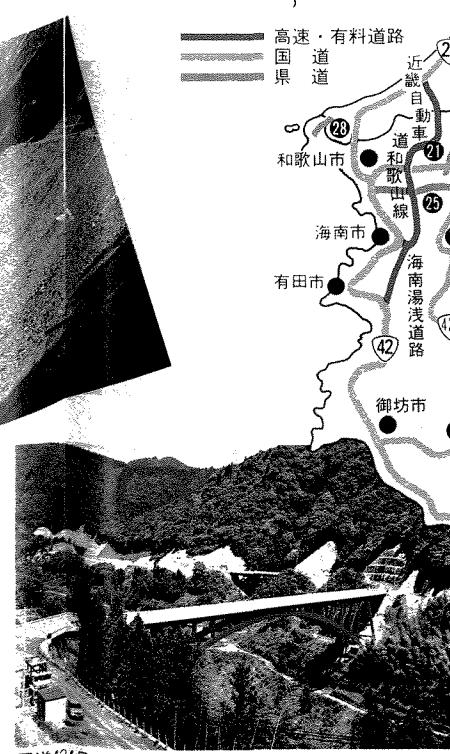
龍神村柳瀬⑲



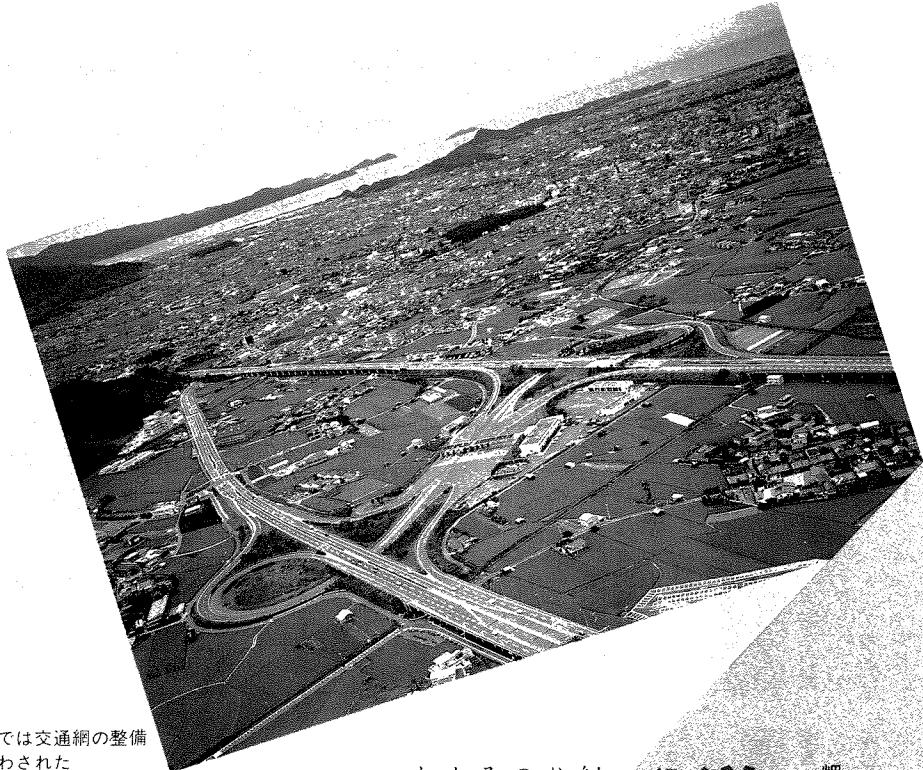
高野龍神スカイライン
(昭和55年7月完成)



一般有料海南湯浅道路
(昭和59年4月開通)



国道424号初湯川大橋(美山村)

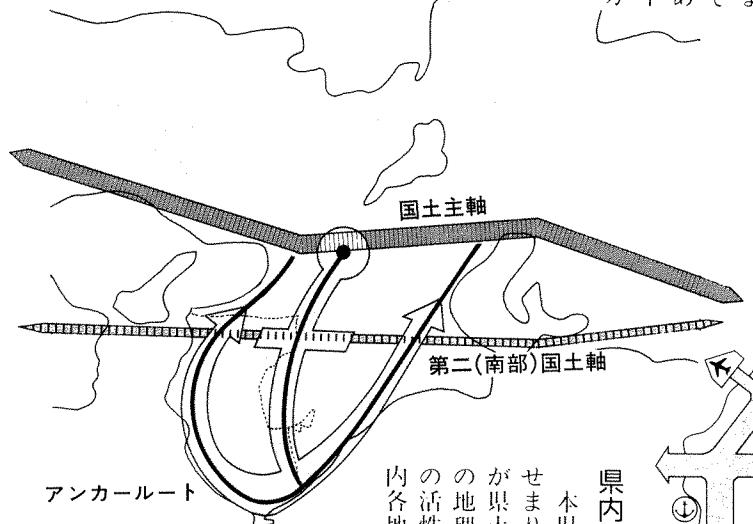


和歌山インターチェンジ

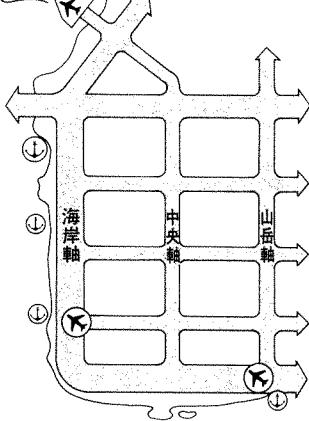
紀伊半島知事会議では交通網の整備について意見が交わされた



紀伊半道イカリ型幹線道路網構想
本県は日本最大の半島である
紀伊半島に位置し、和泉山脈により京阪神と分断されています。その半島性を克服し、国土の均衡ある発展を図るため、紀伊半島をイカリ型に結ぶ幹線道路網（アンカールート）が必要です。

**県内半日圏構想**

本県は、険しい山地が海にせまり、曲がりくねった河川が県土を分断しています。この地理的条件を克服し、地域の活性化を推進するため、県内各地をおおむね一時間で結ぶ幹線道路網の整備を促進します。

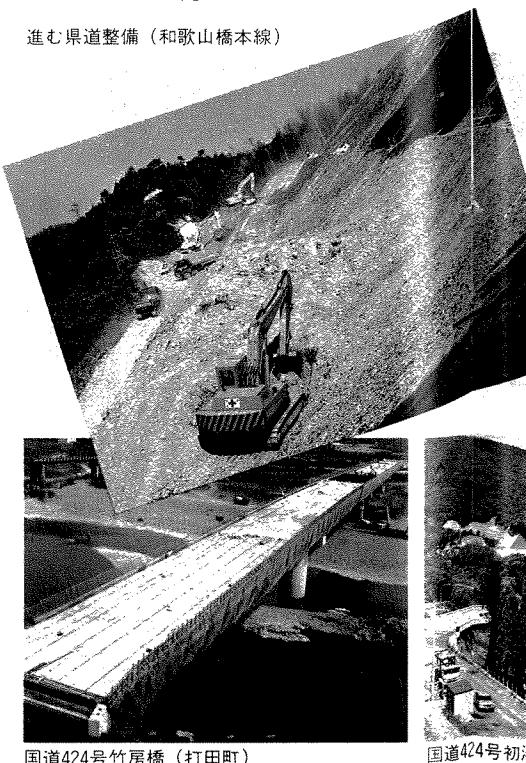


と高速道路整備の遅れは否めません。しかし、「道路」を県政の重点課題として取り組めできた結果、県内の国道の総延長は約七六〇キロ、県道と合計すると全国平均の一・五倍を大きく上回っています。また関西国際空港の建設に伴う地域整備大綱に十路線が盛り込まれています。そのほか高速道路の紀南延伸などを国に対して積極的に働きかけています。今月は本県の道路について考えてみましょう。

県道では道路改良で三十カ所、特殊改良で四十九カ所の整備を進めています。主要な場所は次のとおりです。

布施屋塚線	川辺橋①
田辺十津川線	田辺市秋津川②
泉佐野打田線	田辺市大沢④ 南部川村名之内 ～龍神村虎ヶ峰⑧
神通④	和歌山市東山東～西山東⑨
和歌山橋本線	九度山町慈尊院⑩ 橋本市学文路～丁田～清水⑪ 向副⑫
岬加太港線	和歌山市大川～深山⑬

進む県道整備（和歌山橋本線）



わせると二・七六七キロになり、県民一人当たりでは一・五倍と全国平均の一・五倍を大きく上回っています。また関西国際空港の建設に伴う地域整備大綱に十路線が盛り込まれています。そのほか高速道路の紀南延伸などを国に対して積極的に働きかけています。今月は本県の道路について考えてみましょう。

県道では道路改良で三十カ所、特殊改良で四十九カ所の整備を進めています。主要な場所は次のとおりです。

国道424号竹房橋（打田町）



にぎわう「消費者の日」



5月30日は「消費者の日」。「自立する消費者——人生80年時代の消費者」をテーマに県下各地でいろいろな催しが行われました。

御坊市では日高地方生活学校連絡協議会が同地方の特産品展示即売会と家庭で余った品物の展示即売会を開きました。

会場では約40人の会員が持ち寄ったタオルやセッケン、衣類など約200点と御坊市、美浜町、日高町、由良町、中津村、龍神村、南部町、南部川村の特産品が市価の半額以下で販売され、多くの買い物客でにぎわいました。
(御坊市)



30年ぶり 熊野川のイカダ下り

5月22日、本宮町に住む元イカダ師の鳥居政量さん(74)と中森叡さん(68)が吉野熊野国立公園50周年を記念してイカダ下りを再現しました。

本宮町の三里大橋を出発したイカダは新宮速玉大社下の権現河原までの38キロを30年ぶりとも思われない2人の軽い櫂さばき、竿さばきまで下りました。

このイカダは今後、学校の教材として生徒に見学してもらうことになっています。

(東牟婁地方)

六月八日、和歌山市加太の磯で自然観察会が開催されました。これは五日から始まつた環境週間の一環として県の観光課が主催したもので、好天のもと八十人の親子連れが参加しました。

加太海岸は潮の流れが激しく、干満の差が大きいのでたくさんのがすんでいます。参加者は四人の講師から説明を受けたあと、四班に分かれイソギンチャクや貝類など磯の生物を観察。ウミウシの仲間のアメフラシなど珍しい生き物に歓声をあげていました。
(和歌山市)

珍しい生物に歓声 加太の自然観察祭会



電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山・NHK)

きのくに'86(WTV) 金曜日 午後10時 (再)日曜午前11時
県民チャンネル(WTV) 月水金 午後8時55分 火木土 午後9時25分
日曜日 午後7時55分

豊かに生きる(WTV) 土曜日 午後6時

くらしのチャンネル和歌山(NHK)

月~金 午前11時40分 (再)午後1時25分

ラジオ (和歌山放送)

ここにちは和歌山県です 土曜日 午後2時45分

県民マイク 土曜日 午前11時30分

県庁だより 月~金 午前11時30分 (再)午後5時40分

土日 午後0時30分 (再)午後6時

これは木工製品を試作して多くの人が集まる場所へ置き、木材の良さを見直してもらうというもので、当日は十人のメンバーガ参加。ヒノキ材を使ってベンチづくりを取り組み、出しが上がったベンチを国鉄湯浅駅と有田県事務所に設置しました。

同グループでは、こうした試みを継続的に行なってPRしていきたいと張り切っています。
(清水町)



小径木利用のベンチづくり

林業技術者有田支部の若手グループが、五月十一日に清水町で木工教室を開催しました。

童謡に新風 東くめ

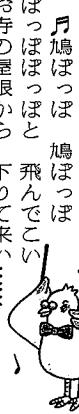
月鳴ばっぽ 鳴ばっぽ
ぱっぽぱっぽ 飛んでこい
お寺の屋根から下りて来い
国鉄新宮駅前に鳴ばっぽの童謡碑があるの
をご存じでしょうか。鳴の愛らしい姿をそのまま
文字に映した、この「鳴ばっぽ」は口語体で作られた最初の童謡といわれています。作詞者は長い間わかりませんでしたが、昭和三十三年、新宮市出身の東くめさんであることがようやく知られるようになりました。

東くめさんは明治十年、旧新宮藩家老由比甚五郎の長女として新宮市で生まれました。やがて東京音楽学校に進み、卒業後は東京府立女学校の音楽科教諭となります。明治三十一年、二十二歳のとき東京女高師教諭東基吉氏と結婚。結婚とともに、このころ幼稚園児にもわかる童謡を作つてみたら、という夫の勧めで彼女は童謡の作詞を始めます。

そこであがつた「鳴ばっぽ」に音楽学校の後輩、滝麻太郎が曲をつけ、初めての口語体の童謡が生まれました。このころは童謡もすべて文語体で、「鳴ばっぽ」の音楽界に与えた影響はたいへん大きいものでした。くめさんは昭和三十七年に新宮市名譽市民となり、昭和四十四年三月、九十一歳の生涯を閉じました。

バイオ技術はまだつぼみの段階。全国の自治体や企業の試験研究機関で活発な研究が進んでいます。県でも、優良な品種改良、大量・早期生産の研究開発に取り組んでおり、バイオ技術により生産された食品が家庭の食卓に並ぶのも、そう遠くないものと思われます。

今月号から、県民の友編集に女性記者が登板しました。家庭や婦人の問題など、みなさん方のご意見、ご要望をお待ちしています。



シリーズ①